

01

「さかさ やち しつ げん逆谷地湿原」

10万年の歴史を秘めた小さな湿原

飯綱火山なんとうろくの南東麓に広がる高原の、ちょうど長野市と飯綱町の境に、逆谷地という変わった名前の湿原があります。この名前の由来ははっきりしませんが、おそらくは、湿原全体が飯縄山の方へゆるやかに傾いていることから、ほかの飯縄山麓さんろくの川の流れとは違って、ここに流れ込む水だけがいったん飯縄山に向かって流れるということが「さかさ」の理由ではないかと思われます。広さ約4ヘクタールの小さな湿原ですが、低い気温と適度の水分のおかげで植物遺体が腐らずに少しずつ積み重なり、それが厚さ13メートルもの泥炭層でいたんそうになって堆積たいせきしています。その泥炭層について詳しく研究された結果、ここが約10万年にも渡る長い歴史を秘めた湿原であることが分かりまし



逆谷地全景